



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 施工に使用する接着剤・両面テープは必ず指定の接着剤を使用して取付けてください。指定外の接着剤・両面テープでの取付けは、カバー材のはがれ、脱落の原因となります。
- 既存枠及び躯体は木質を対象としています。シート枠およびスチール枠等は接着強度が保持できない場合があります、カバー材のはがれ、脱落の原因となります。
- 既存枠表面の油分や塗膜を取除き、指定の接着剤・両面テープにて取付けてください。接着不良はカバー材のはがれ・脱落の原因となります。

■取付け上のお願い

- 取付け前に既存枠のフクレ・ツツミ・内ソリ・外ソリが3mm以内であることをご確認ください。カバー材の浮き、はがれの原因となります。
- 取付けには必ず市販もしくは有償部品(NZZZ223)のSG-1(変成シリコン樹脂系接着剤)と有償部品の両面テープ(NZZZ224)を併用してください。又、接着剤に記載してある使用方法・注意事項を守ってください。
- 既存枠の表面に段差や不陸のある場合には製品が正しく施工できない場合があります。段差や凸部は紙やすりなどで削り、凹部はパテ埋めなどの処理をして調整してください。
- 既存枠の表面を紙やすりなどで削り、油分や塗膜を取除いてから取付けてください。(油分や塗膜が残っていると、接着強度が保持できない場合があります。)
- 既存枠は1部材ずつ寸法を測定して切断し、取付けてください。
- はみ出した接着剤は、すぐに拭きとってください。
- 保管は直射日光の当たる場所を避け、必ず平置きしてください。ソリやねじれなど、変形の原因となります。
- 製品は、屋内用建具枠・窓枠・幅木用となります。屋内でも浴室など、たえず湿気にさらされたり、水がかかったりするところではご使用になれません。(土足不可)
- 接着剤(SG-1)の張合わせ可能時間は23℃で10分以内、30℃で5分以内となるため、接着剤塗布後は速やかに施工してください。張合わせ可能時間を過ぎると接着剤表面が硬化し接着不可能となります。
- 接着剤の実用強度は約1時間で発現します。冬期は気温・湿度が低いいため硬化が著しく遅くなりますので、施工当日は衝撃をあたえないようにしてください。
- カバー材に不足・破損があった場合は、施工する前に当社営業所までご連絡ください。

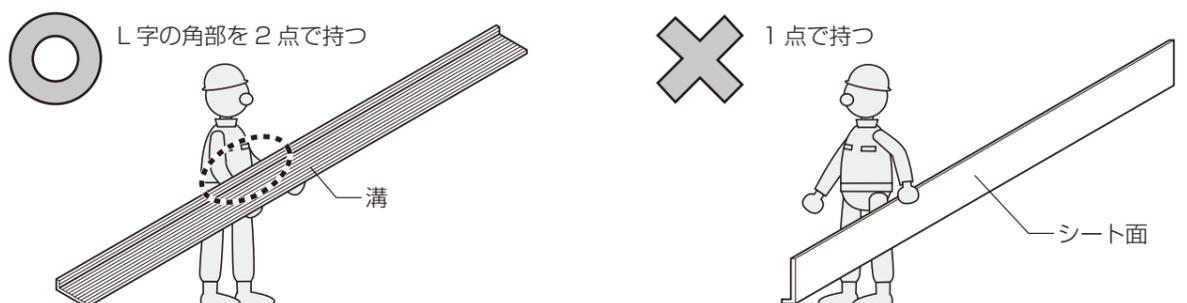
■取付け前の事前確認

●本品は、既存枠の外観をリフォームする化粧材です。既存枠のソリ状況によってはリフォームできない場合がありますので、下記表にて許容値をあらかじめご確認ください。

(単位: mm)			(単位: mm)		
計測箇所	計測箇所	許容値	計測箇所	計測箇所	許容値
既存枠のソリ (フクレ)		L2-L1 3	既存枠上下の内ソリ		L1-L2 3
既存枠のソリ (ツツミ)		L1-L2 3	既存枠上下の外ソリ		L2-L1 3

■カバー材取扱い上のお願い

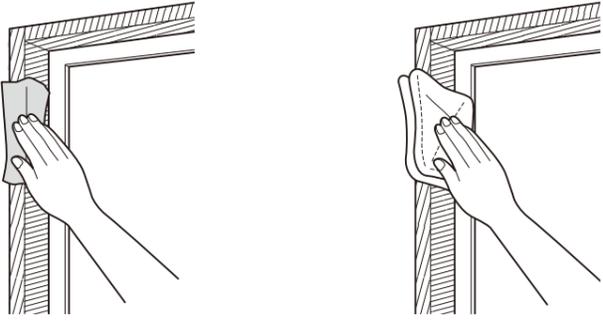
●カバー材の開梱後の運搬については必ず溝の入っている面を上にして両手で運んでください。部材が曲がって変形し、すき間・はがれの原因となります。



■取付け手順(共通手順)

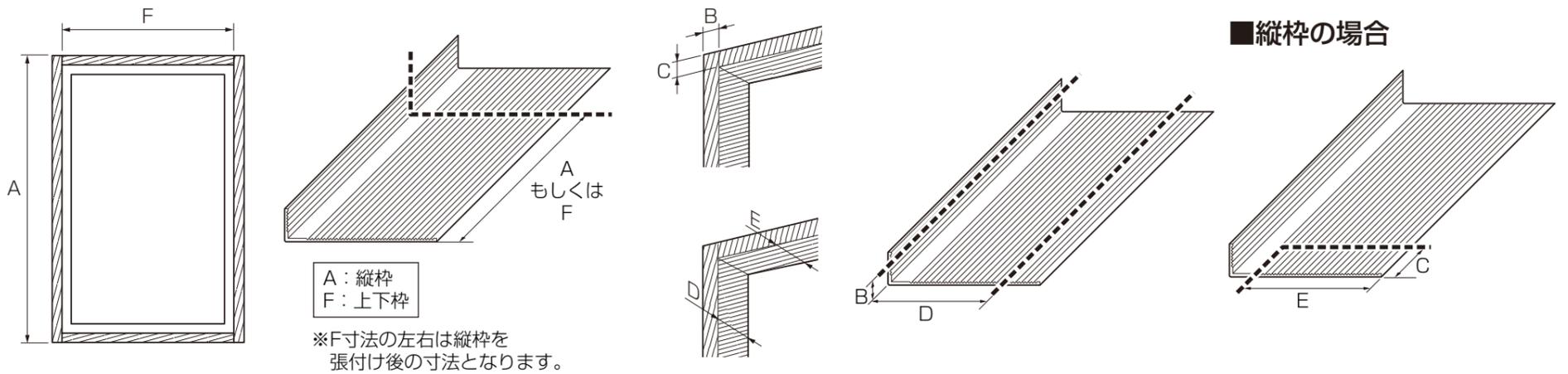
1 既設枠の下地処理

- ①既設枠の表面を紙やすりなどで削り、油分や塗膜を取り除きます。
 - ②硬く絞った雑巾などで削りかすなどを拭きとってください。
(紙やすりによる削り粉は確実に拭き取ってください。)
- ※既存枠に水気が残っている場合は十分に乾かしてください。



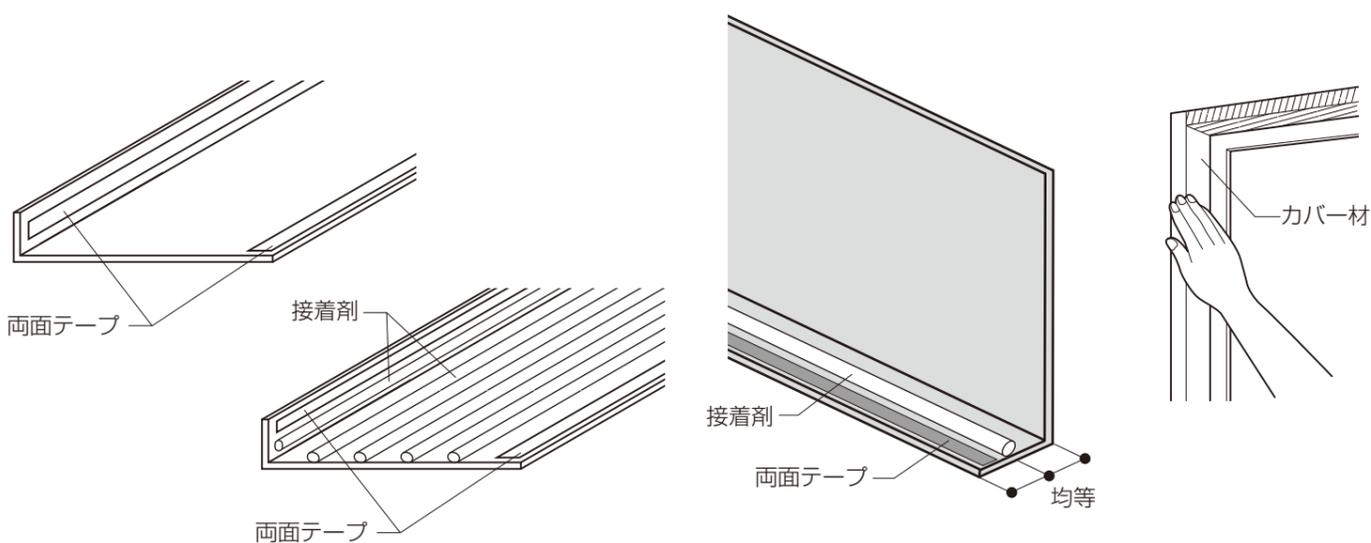
2 既存枠の採寸・カバー材のカット

- ①既存枠の長さを採寸します。
- ②①で採寸した長さにカバー材をカットします。
- ③見込み面・見付け面を採寸します。
- ④カバー材の溝にそって、見込み面・見付け面に合わせてカットします。
(鉛筆などで溝に印を入れるとカット位置がわかりやすくなります。)
- ⑤横枠との突き付け部を切欠きます(縦枠のみ)。



3 カバー材の取付け

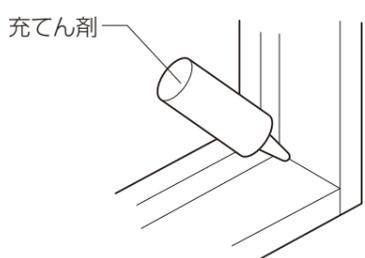
- ①カバー材に両面テープを張付けます。(カバー材の端部に当たる部分に張付けます)
- ②両面テープにはみ出さないように接着剤を塗布します。
- ③既存枠とカバー材の間にすき間ができないように、カバー材を圧着します。



2~3の手順を左右の縦枠 → 上枠 → 下枠の順に繰り返し行い、既存枠全体をカバーします。

4 仕上げ

最後に気になるすき間などがあれば、有償部品の充てん剤ですき間を埋めます。



■取付け手順(ドア専用)

1 丁番とカバー材の取付け順序

- ① 丁番を取付ける位置の戸当りを切欠きます。
 丁番取付け位置は「リノバ室内ドア／戸襖ドア取付け説明書」を参照のうえ、
 床または敷居上面より丁番中心位置までの距離を位置出しします。

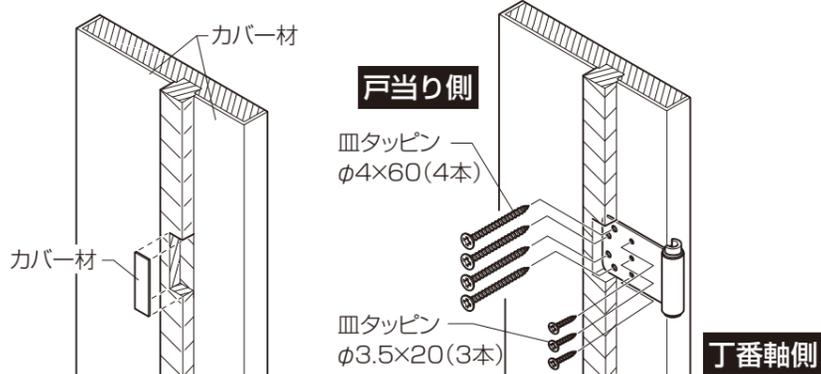
お願い

※戸当りの切欠き形状は指定寸法にて加工してください。
 指定寸法以外で取付けた場合、ドア本体が閉まらない、
 ドアと戸当りのすき間が大きくなるなどの支障が出る
 可能性があります。

- ② 縦枠の丁番側に30×160もしくは30×100のカバー材をカットし、接着剤・両面テープを併用して取付けします。
 切欠いた部分にもカバー材の端材を使用し、段差がないように仕上げてください。
- ③ 縦枠の丁番側と反対側に30×160もしくは30×100のカバー材をカットし、接着剤・両面テープを併用して取付けします。
- ④ カバー材の上から丁番を水平になるように取付けします。
- ⑤ 戸当りを切欠いた部分を段差がないように埋木(現場手配)で処理します。
- ⑥ 戸当りの見込み面に②もしくは③の端材をカットし、接着剤・両面テープを併用して取付けします。
- ⑦ 戸当りの見付け面に3×25のカバー材をカットし、接着剤・両面テープを併用して取付けします。
- ⑧ 壁からの出幅部分に3×25のカバー材をカットし、接着剤・両面テープを併用して取付けします。

●切欠け部の張付け

●丁番取付け方法

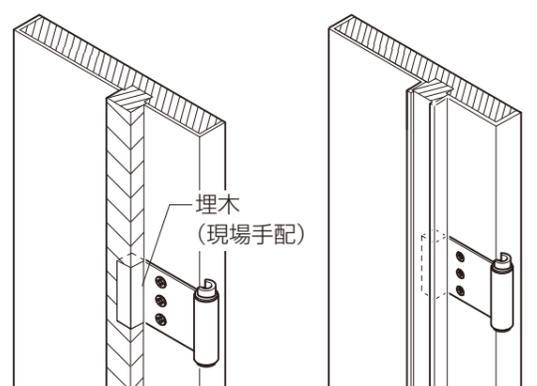


▲注意

丁番の戸当り側ねじ(皿タッピンφ4×60 4本)固定位置に躯体があることを確認してください。
 丁番固定ねじは必ずゆるみ・ガタツキがないように締付けてください。
 本体脱落の原因になります。

●埋木処理

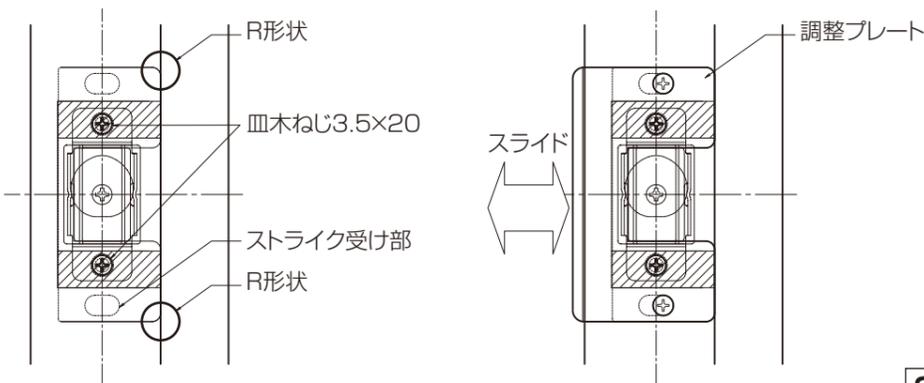
●完成図



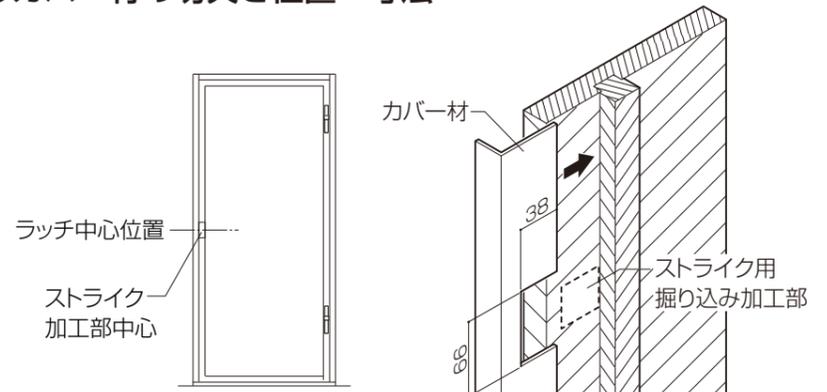
2 ストライクとカバー材の取付け順序

- ① 縦枠のストライク取付け側に合わせて30×160もしくは30×100のカバー材をカットします。
- ② カットしたカバー材はストライクの取付く位置をあらかじめ端から幅38mm、高さ66mmで切欠きします。
- ③ ②のカバー材をストライク取付け側に接着剤・両面テープを併用して取付けします。
- ④ 縦枠のストライク受け側と反対側に30×160もしくは30×100のカバー材をカットし、接着剤・両面テープを併用して取付けします。
- ⑤ 戸当りの見込み面に①もしくは④の端材をカットし、接着剤・両面テープを併用して取付けします。
- ⑥ 戸当りの見付け面に3×25のカバー材をカットし、接着剤・両面テープを併用して取付けします。
- ⑦ 壁からの出幅部分に3×25のカバー材をカットし、接着剤・両面テープを併用して取付けします。
- ⑧ ②で切欠いた部分からストライク用掘り込み加工をします。
- ⑨ 角部にR形状がついている側を戸当りのカバー材に当て、ストライク受けの受け部を付属のねじ(皿木ねじ3.5×20)で取付けします。
- ⑩ 調整プレートをスライドさせて位置を決め、付属のねじ(皿木ねじ3.5×20)で固定します。

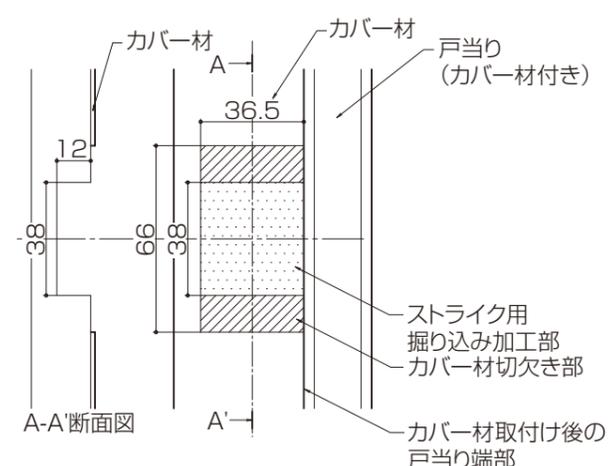
●ストライクの取付け



●カバー材の切欠き位置・寸法



●既存枠への加工寸法



■取付け手順(引戸専用)

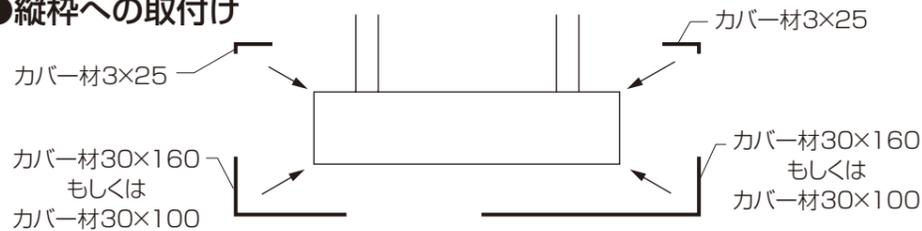
1 縦枠の取付け順序

- ①引戸本体に同梱している縦枠用のパッキンの取付けの中心位置を決めます。
カバー材は2枚使用します。パッキンの取付け中心位置でカバー材をつないでください。

片引きの場合(右図A)：鴨居の溝の中心から室外側へ11mm
引違いの場合(右図B)：鴨居の溝の中心から室内側へ10mm
(右図C)：鴨居の溝の中心から室外側へ10mm

- ②①の位置に合わせて30×160もしくは30×100のカバー材をカットし、
接着剤・両面テープを併用して取付けします。
③壁からの出幅部分に3×25のカバー材をカットし、接着剤・両面テープを併用して取
付けします。

●縦枠への取付け



●両面テープ、接着剤の張付けイメージ



2 鴨居の取付け順序

<片引き戸の場合>

- ①鴨居の室内側に合わせて30×160もしくは30×100のカバー材をカットして接着
剤・両面テープを併用して取付けします。
②鴨居の室外側の縦枠から中縦枠の幅に合わせて30×160もしくは30×100のカバ
ー材をカットして接着剤・両面テープを併用して取付けします。
③壁からの出幅部分に3×25のカバー材をカットし、接着剤・両面テープを併用して取
付けします。
④鴨居の小壁側(中縦枠から小縦枠)の幅に合わせて30×160もしくは30×100のカバ
ー材もしくは縦枠の端材をカットして取付けします。

取付方法

- ・奥行きが15mm以上の場合：接着剤・両面テープ併用
- ・奥行きが10mm以上、15mm未満の場合：両面テープ2本
- ・奥行きが10mm未満の場合：両面テープ1本

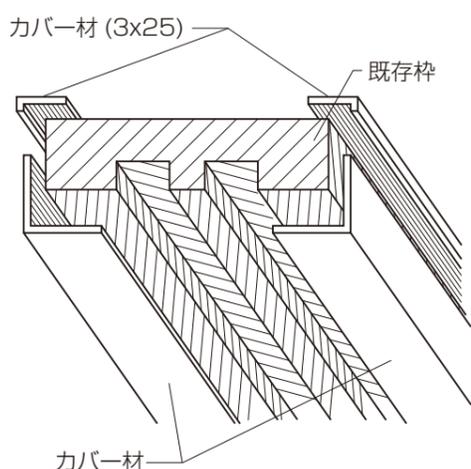
※鴨居の溝にカバー材がはみ出さないように取付けしてください。
はみ出している場合は、本体と干渉し、開閉に支障をきたす原因になります。

<引違い戸の場合>

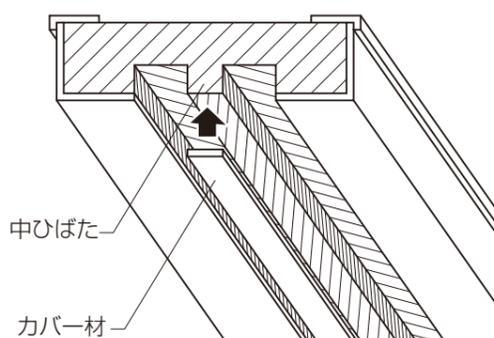
- ①鴨居の室内側に合わせて30×160もしくは30×100のカバー材をカットして接着
剤・両面テープを併用して取付けします。
②鴨居の室外側に合わせて30×160もしくは30×100のカバー材をカットして接着
剤・両面テープを併用して取付けします。
③壁からの出幅部分に3×25のカバー材をカットし、接着剤・両面テープを併用して取
付けします。
④鴨居の中ひばたの幅に合わせて30×160もしくは30×100のカバー材もしくは縦
枠の端材をカットして両面テープ2本で取付けします。

※鴨居の溝にカバー材がはみ出さないように取付けしてください。
はみ出している場合は、本体と干渉し、開閉に支障をきたす原因になります。

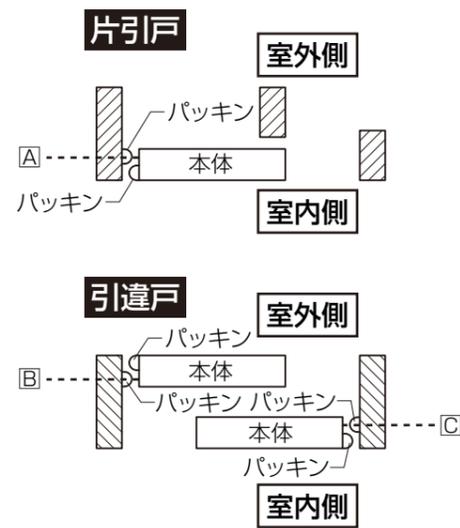
●鴨居への取付け



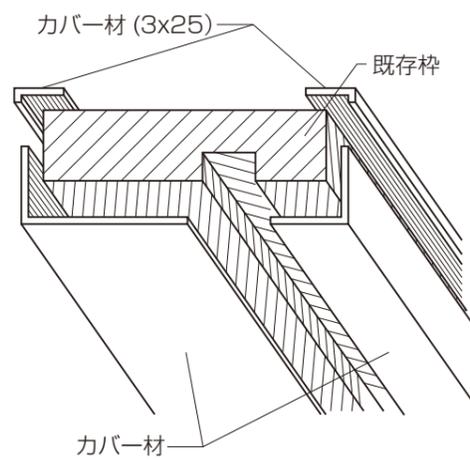
●中ひばたへの取付け



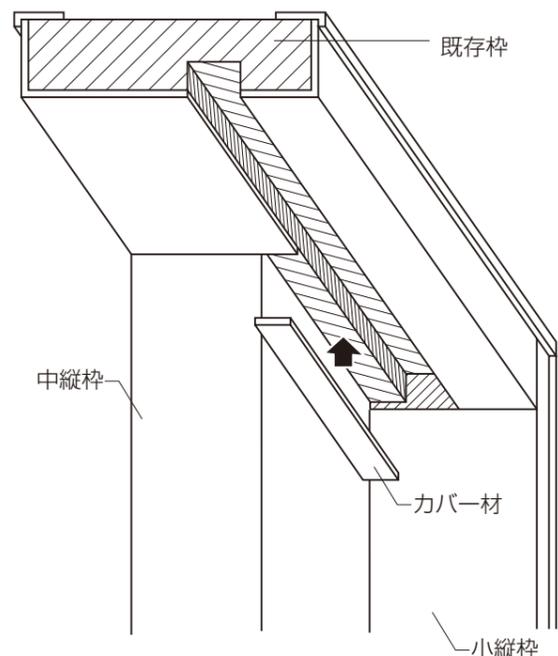
●縦枠への取付け



●鴨居への取付け



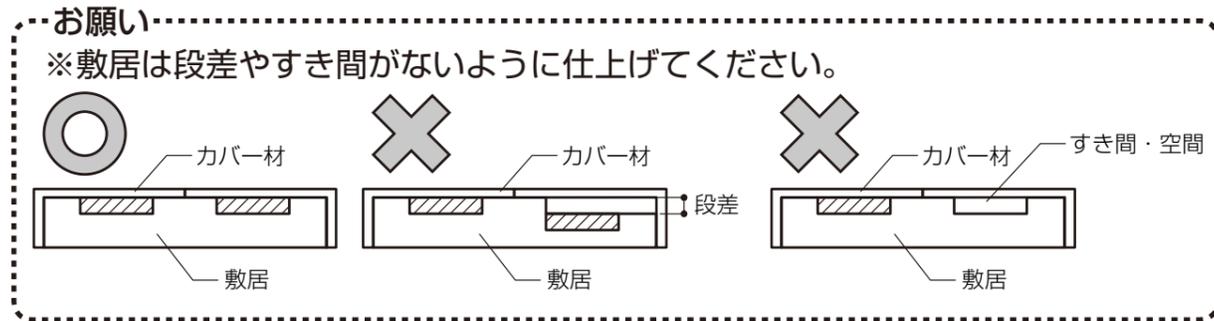
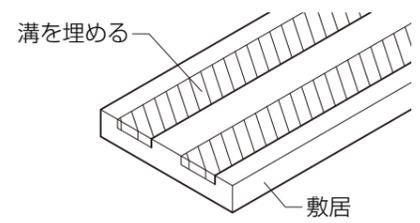
●鴨居(小壁側)への取付け



3 敷居の取付け順序

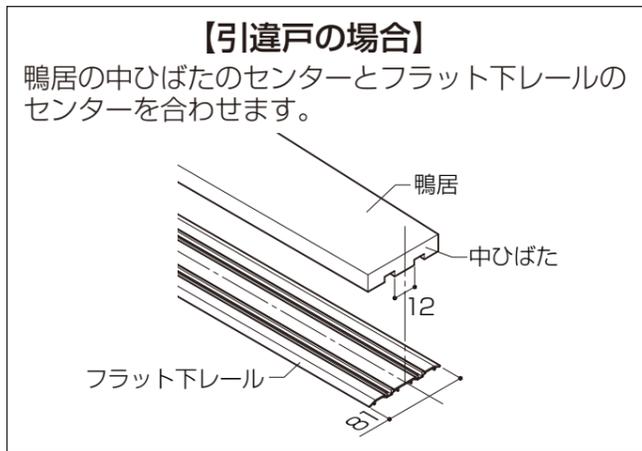
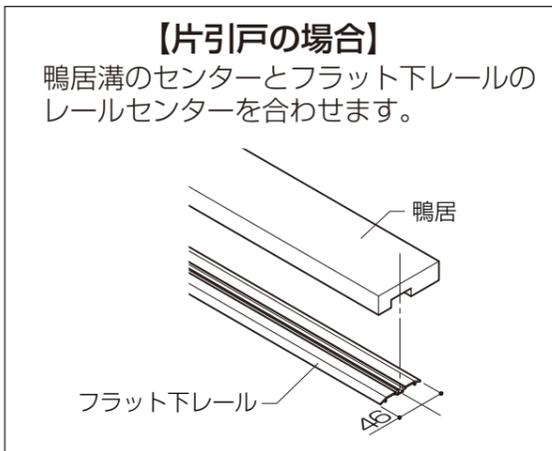
①既存の敷居溝を埋木(現場手配)で処理をします。

●埋木処理

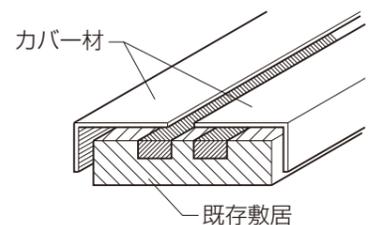


- ②フラット下レールの取付け位置を決め、その中心にカバー材の継手が来るように30×160もしくは30×100のカバー材をカットします。
 ③②のカバー材を接着剤・両面テープを併用して取付けします。
 ④フラット下レールをカバー材の上から取付けします。(※「リノバ室内引戸／戸襖引戸取付け説明書」を参照してください。)

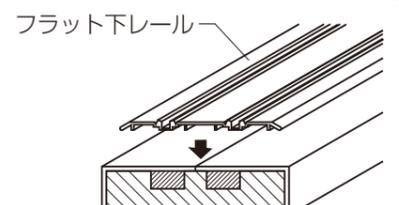
●フラット下レールの位置出し



●敷居のカバー材取付け



●フラット下レールの取付け



4 錠受けの取付け順序(錠付きの場合)

- ①錠受けの掘り込み加工に合わせて、あらかじめカバー材(2部材)を切欠きます。
 ②①のカバー材を既存枠に張付けます。
 ③既存枠に錠受け加工をします。(下図を参照してください)
 ④錠受け部品を同梱のねじ(皿タッピンφ3.5×50)で取付けます。

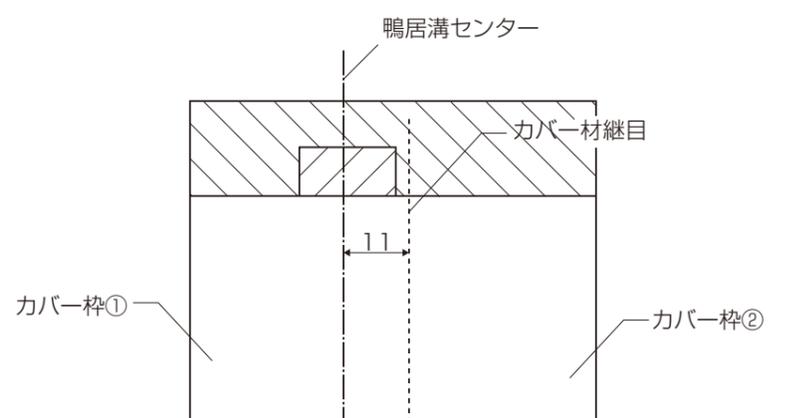
ねじ固定位置はφ2で下穴をあけてください。

※錠受けは枠(またはカバー材)表面より出っ張らないように取付けてください。

※枠側のパッキン材は錠受けを避けて切断してください。

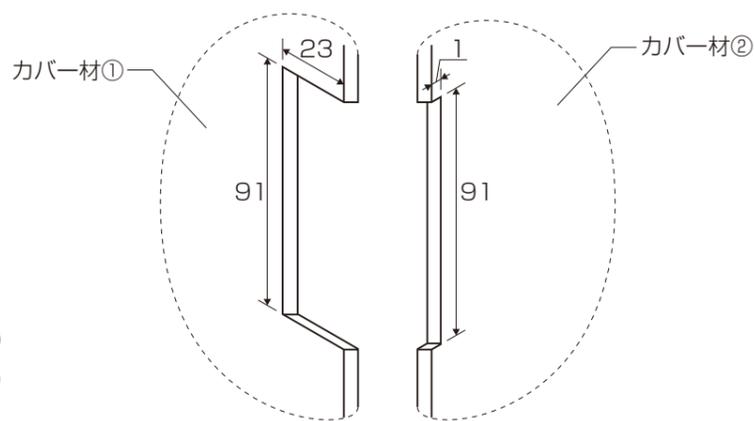
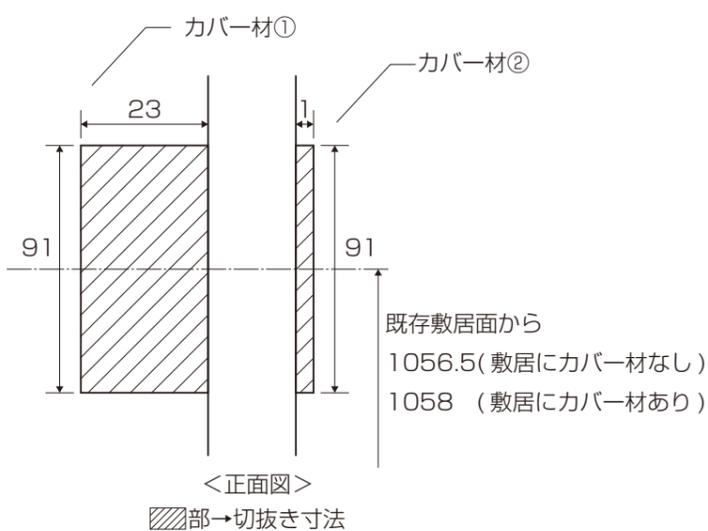
引手・錠位置を変更した場合は「リノバ室内引戸／戸襖引戸取付け説明書」を参照してください。

●カバー材張付け位置

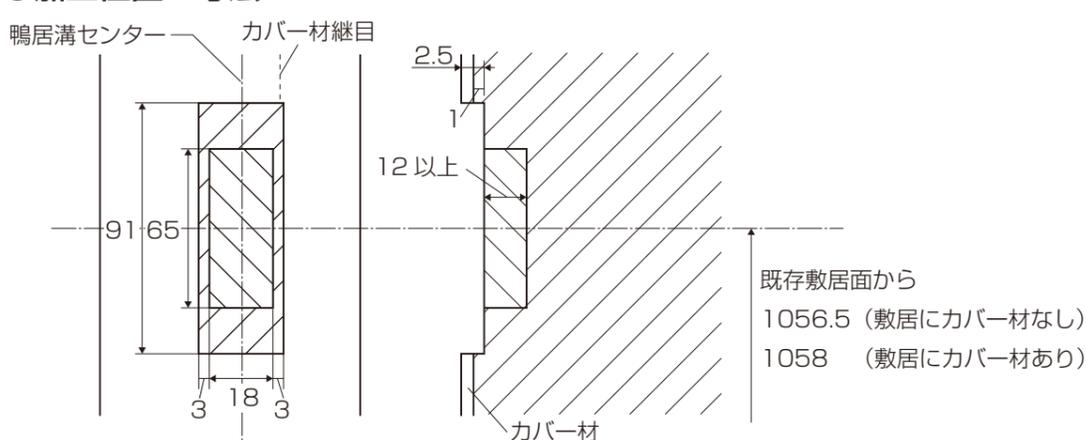


※カバー材は2枚使用します。

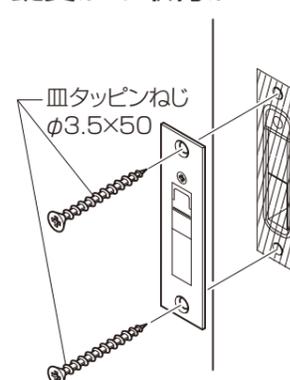
●カバー材切欠き位置・寸法



●加工位置・寸法



●錠受けの取付け



■取付け手順(窓枠専用)

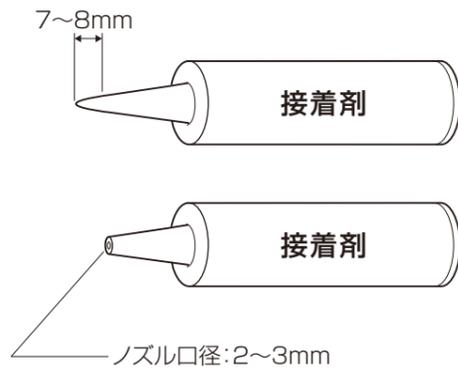
- ①縦枠先端からサッシ枠までの寸法を測定し、30×160もしくは30×100のカバー材をカットし、接着剤・両面テープを併用して取付けします。
- ②壁からの出幅部分に3×25のカバー材をカットし、接着剤・両面テープを併用して取付けします。
- ③上下枠の先端からサッシ枠までの寸法を測定し、30×160もしくは30×100のカバー材をカットし、接着剤・両面テープを併用して取付けします。
- ④上下枠の出幅部分に3×25のカバー材をカットし、接着剤・両面テープを併用して取付けします。

※出幅部のカバー材で縦枠と重なる部分は切欠いてください。

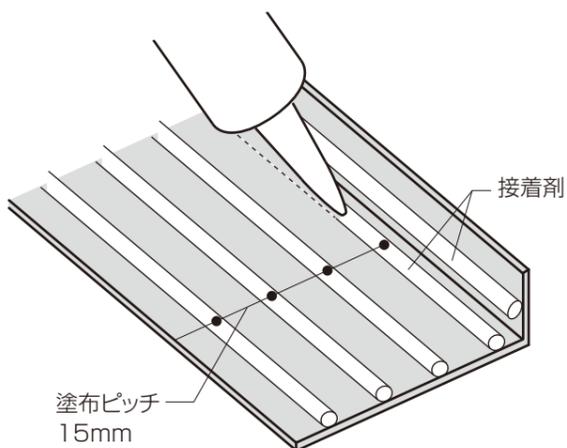
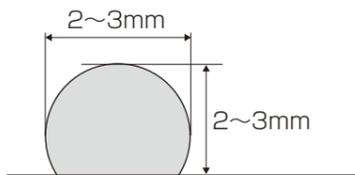
【重要】

◆接着剤塗布量の目安◆

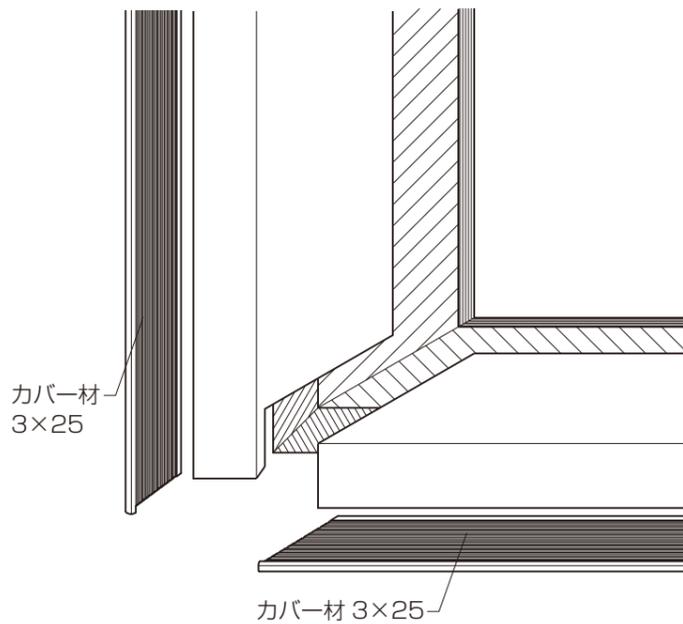
ノズルカット



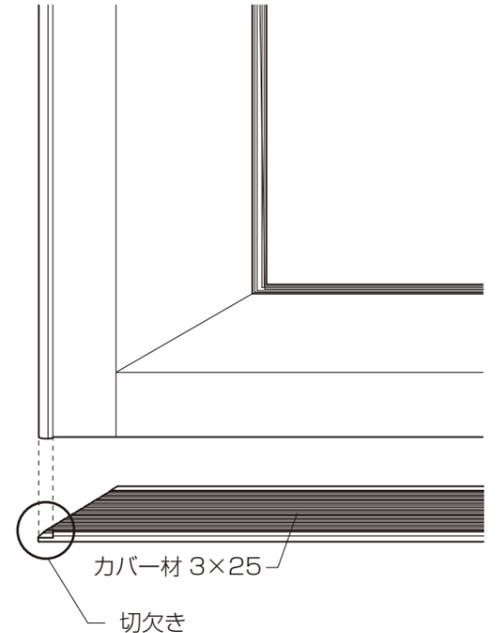
塗布量の目安



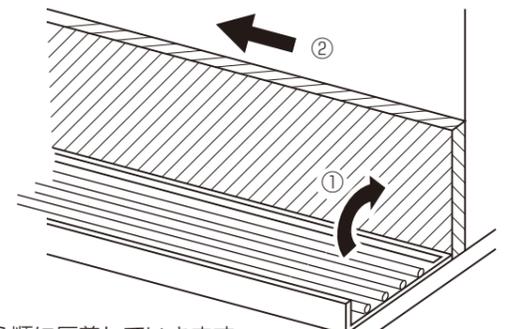
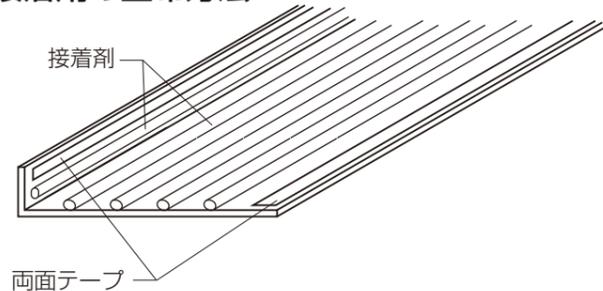
●窓枠のカバー材取付け



●端部の切欠き

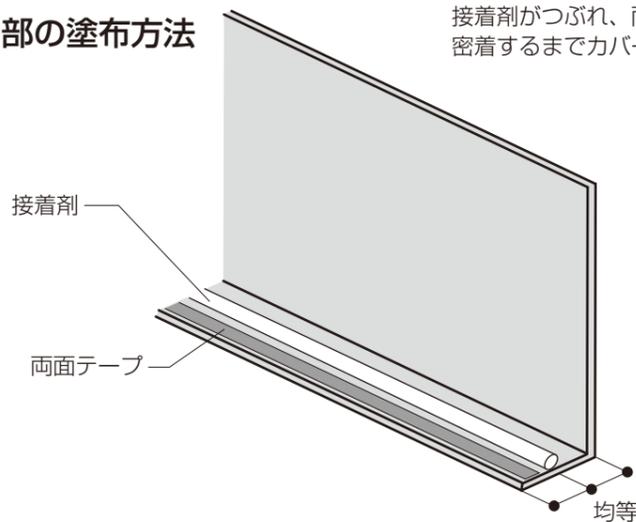


●接着剤の塗布方法



端から順に圧着していきます。
接着剤がつぶれ、両面テープが
密着するまでカバー材全体を強く押しあててください。

●見付け部の塗布方法



■取付け手順(幅木専用)

- ①幅木の長さに合わせて30×100のカバー材をカットします。
- ②①のカバー材を幅木の壁からの出幅、床からの高さに合わせてカットします。
- ③カバー材の奥行き面に両面テープを張り、高さ面に両面テープと接着剤を塗布し、既設の幅木に張付けします。
(張付けは端から順に圧着してください)
- ④出隅・入隅部は別売のフレキシブルコーナーキャップをご使用ください。
最後に気になるすき間などがあれば、有償部品の充てん剤ですき間を埋めます。

※既設床に重ね張り床を取付ける場合は、重ね張り床を取付ける前に幅木カバー材を取付けてください。